

審判の基本について

rev-8

審判講習会

2026年2月23日

長岡市ニュータウン運動公園 屋根付き多目的コート



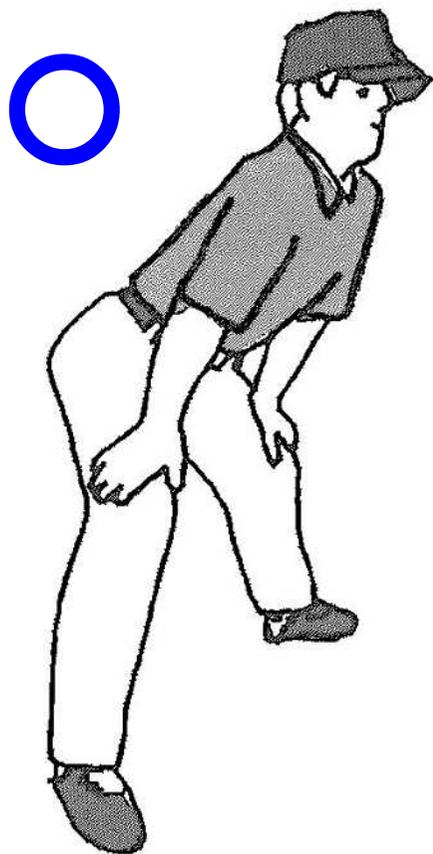
長岡野球協議会 審判委員会

1. 塁審の構え方

(注)

走者がいない時はスタンディング・セットポジション
⇒ 立ったままの姿勢で、ひざを少し曲げて構える。

走者がいる時 ⇒ ハズ・オン・ニーズ・セットポジション = セットポジション



正しい構え方

- ・視野を広く。
- ・プレイに正対する。

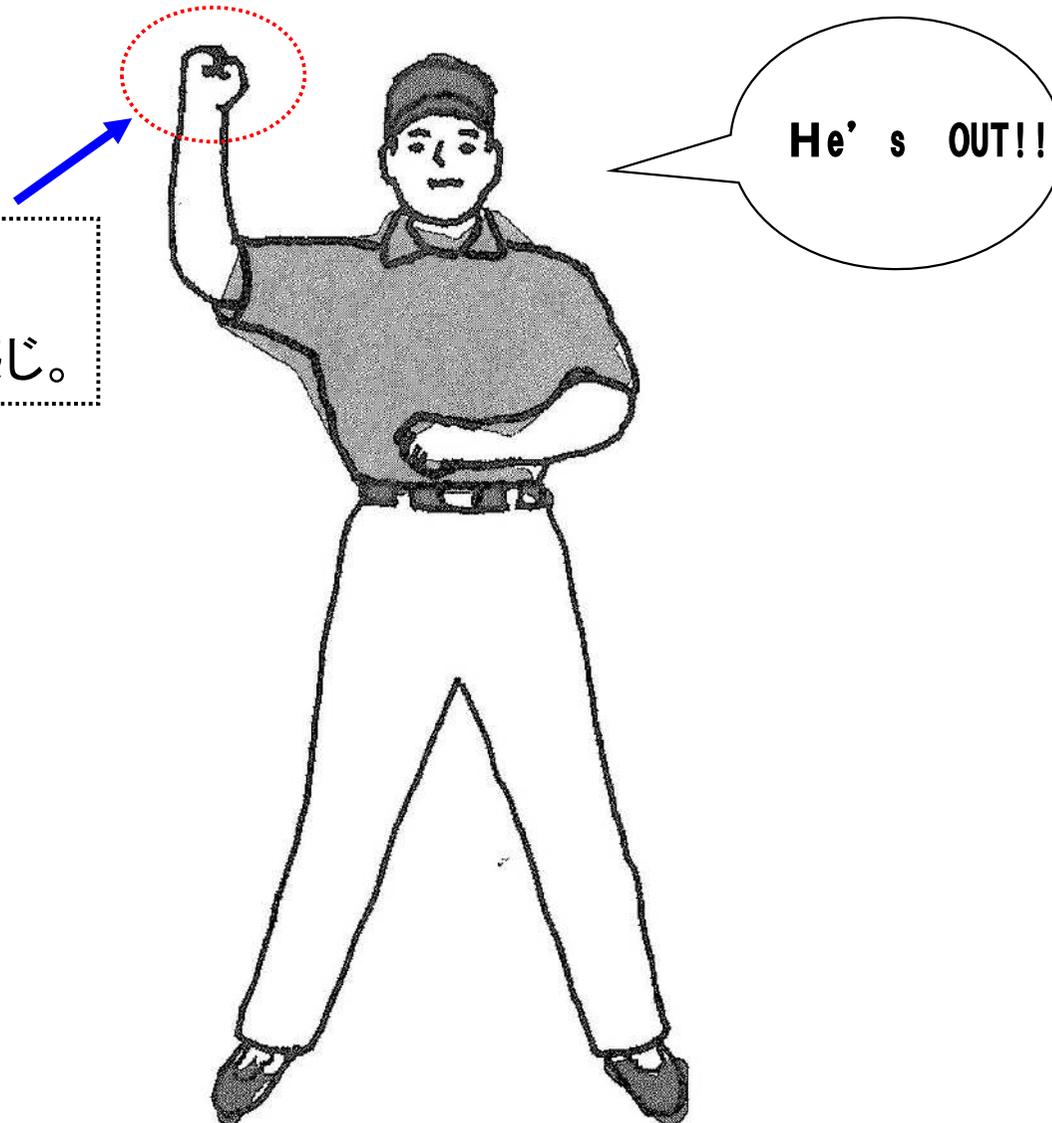


間違った構え方

2. ジェスチャーの基本(塁審)

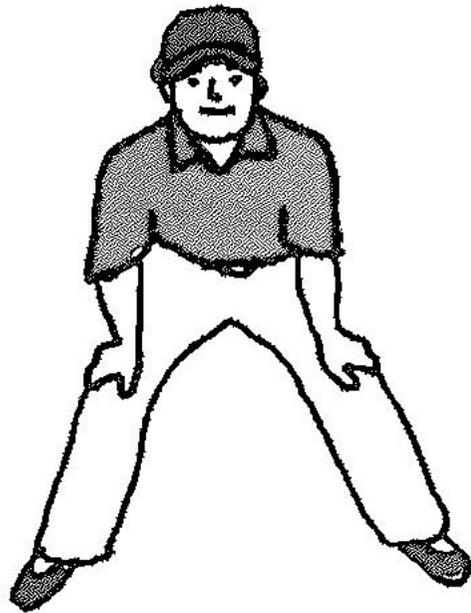
- アウト！

前方にあるドアを
こぶしでノックする感じ。

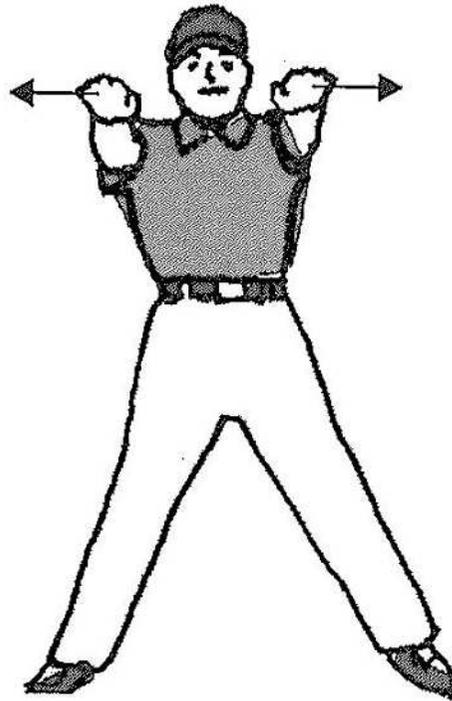
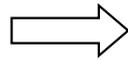


2. ジェスチャーの基本(塁審)

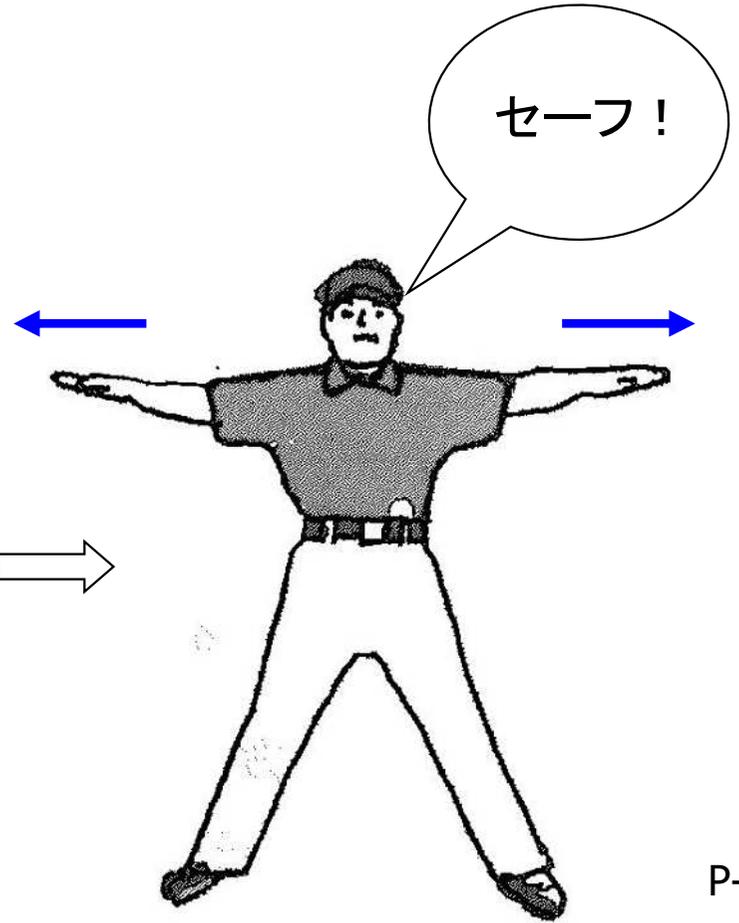
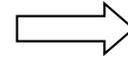
- セーフ!



止まって見る。
視野を広く。



両手を前方に上げる。
平行に。



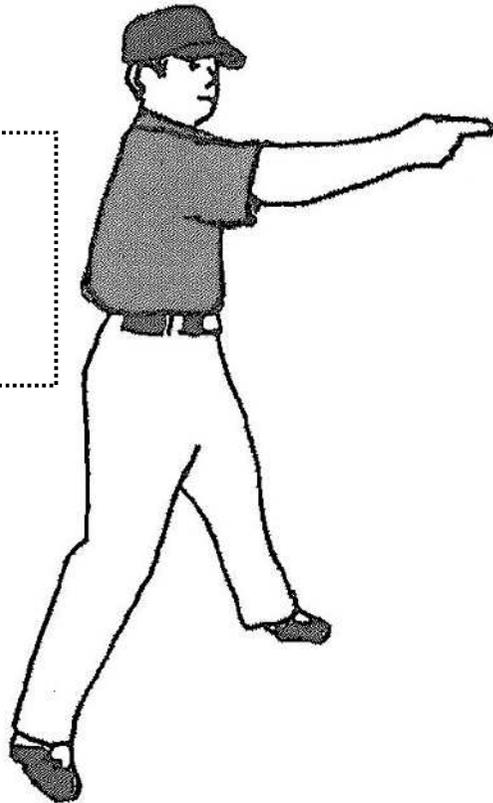
腕を平行に広げる。
指先も平行に(上げない、下げない)

2. ジェスチャーの基本(塁審)

• フェア、ファウル

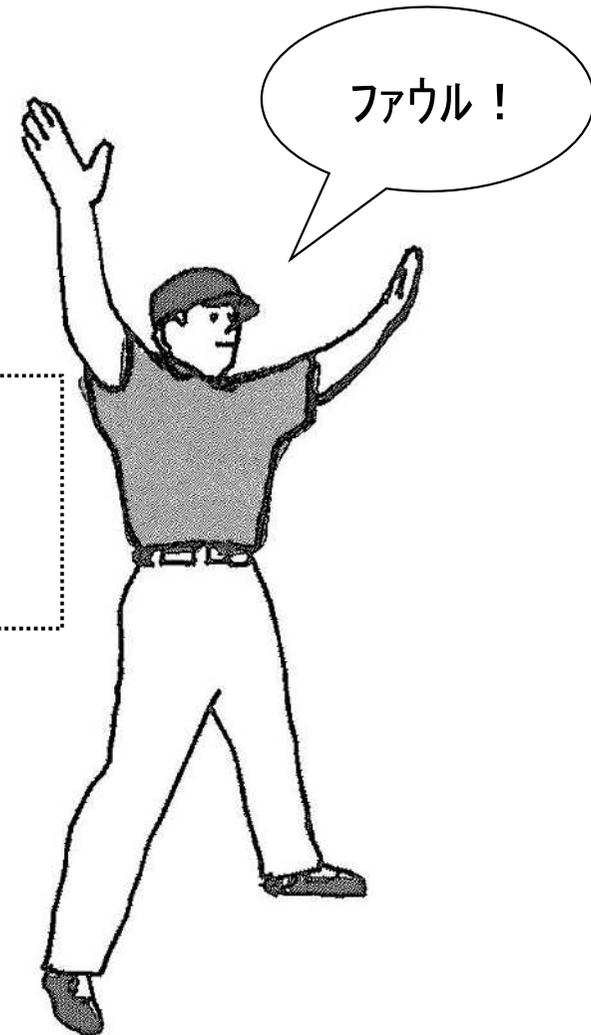
〔フェア〕

ノーボイス
(声は出さない)
指差しのみ



〔ファウル〕

大きく声を出して
「ファウル！」
とコールする



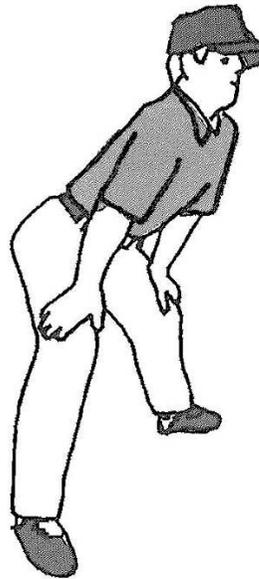
3. GO — STOP — CALL !

- 審判としての基本の動き
- 走る、止まって見る、お知らせする

GO



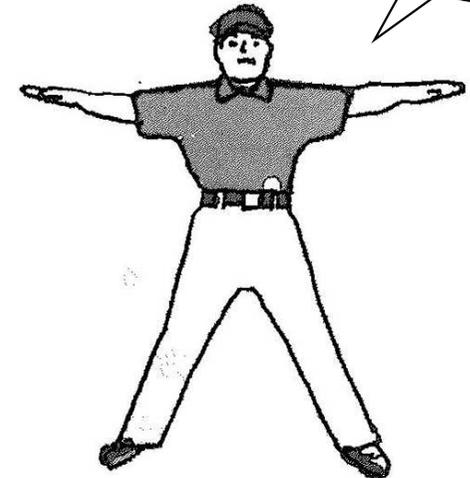
STOP



CALL

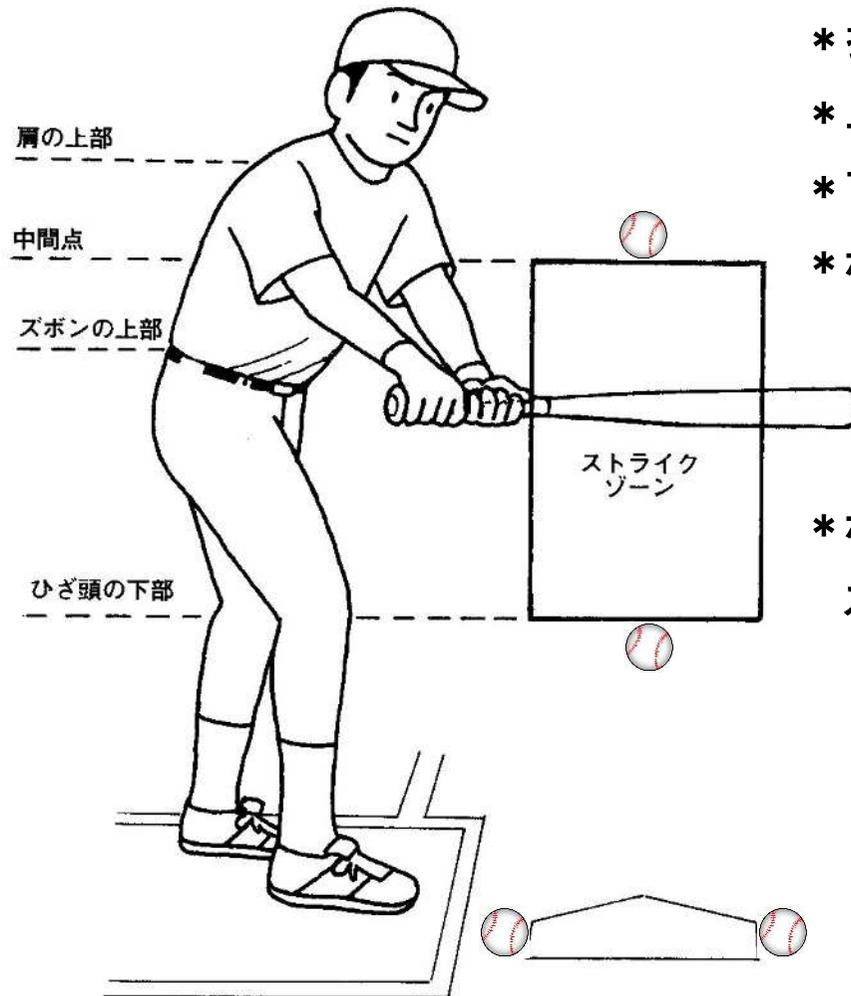


HE's out!



セーフ!

4. ストライクゾーン

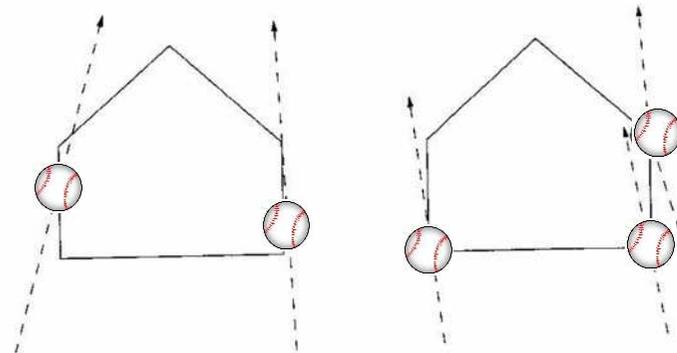


上下は？

- * 打者が投球を打つための姿勢で決定
- * 上限⇒打者の肩上部とユニフォームズボン上部との中間ライン
- * 下限⇒ひざ頭下部のライン
- * ボールの一部分がこのラインを通過したらストライク！
(インフライトの状態で)

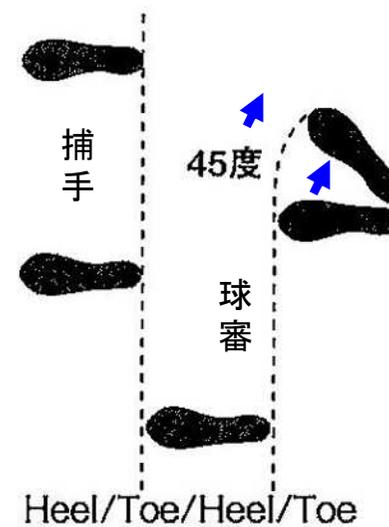
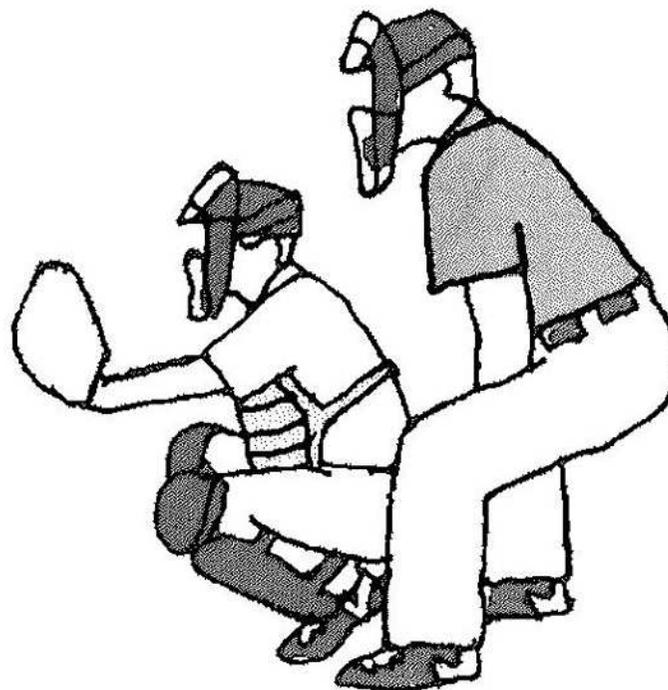
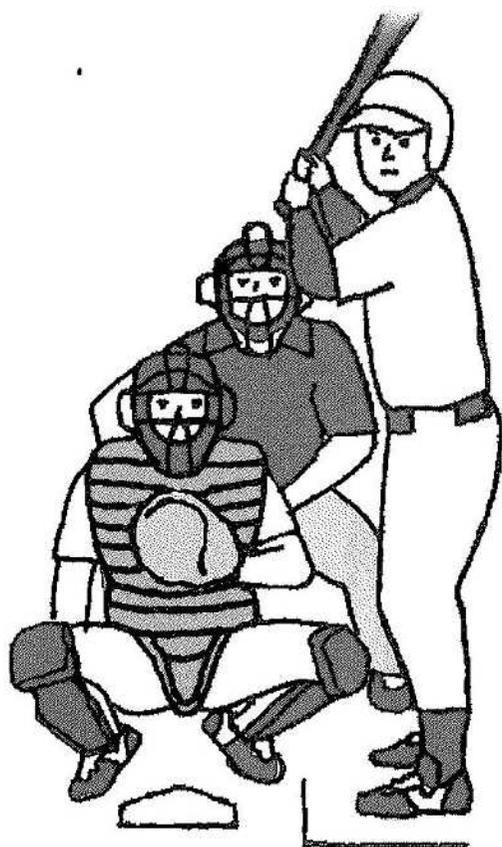
左右は？

- * ボールの一部分が本塁上の空間を通過したら
ストライク！（インフライトの状態で）



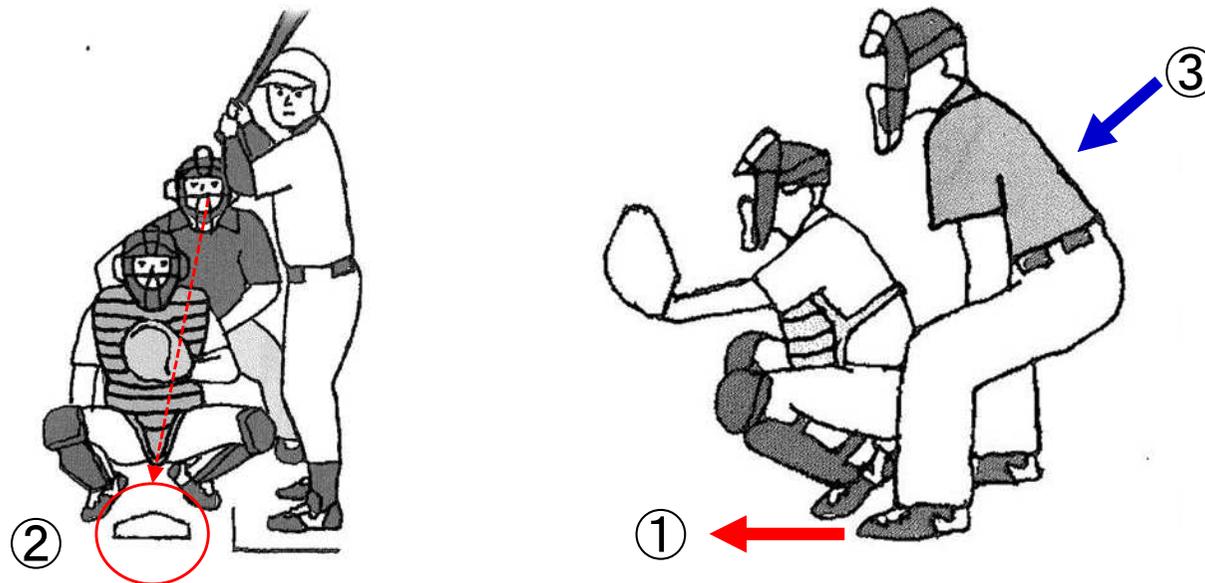
5. 球審の構え方

スロットスタンス



6. 球審の3大ポイント

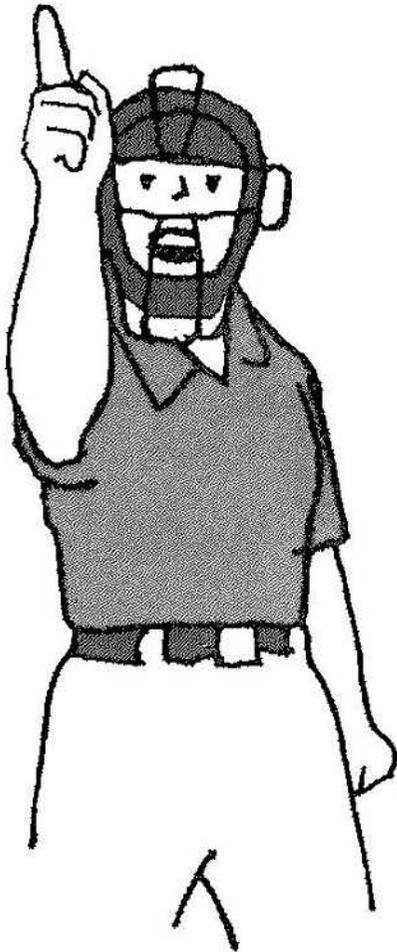
- ① スロット足のつま先が投手方向に向いているか
- ② ホームプレートが全部見えているか
- ③ 構えた姿勢が自分にとって快適か



7. ジェスチャーの基本(球審)

• 7-1 Play !

ステップ1



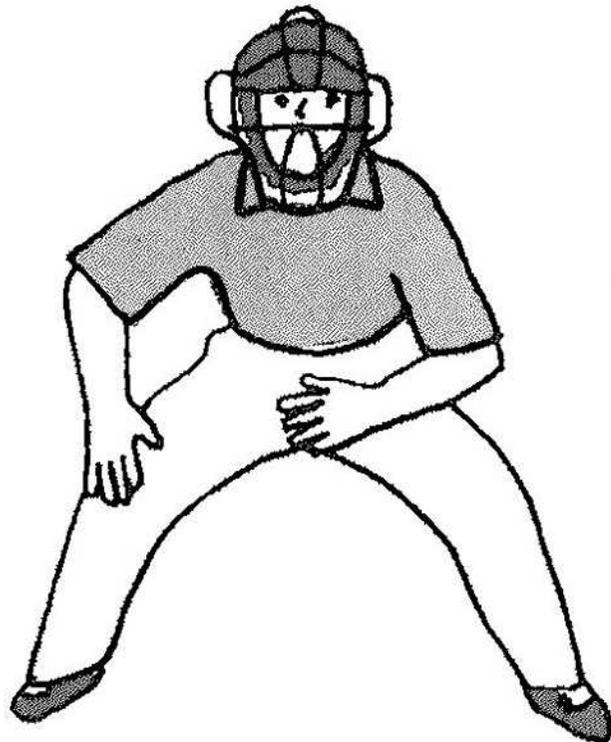
ステップ2



7. ジェスチャーの基本(球審)

• 7-2 Get set Call(ボール、ストライク)

この姿勢で投球を判定する。



“Get set” の姿勢

ボール

この姿勢のまま「ボール！」をコール

ストライク

ストライク!



7. ジェスチャーの基本(球審)

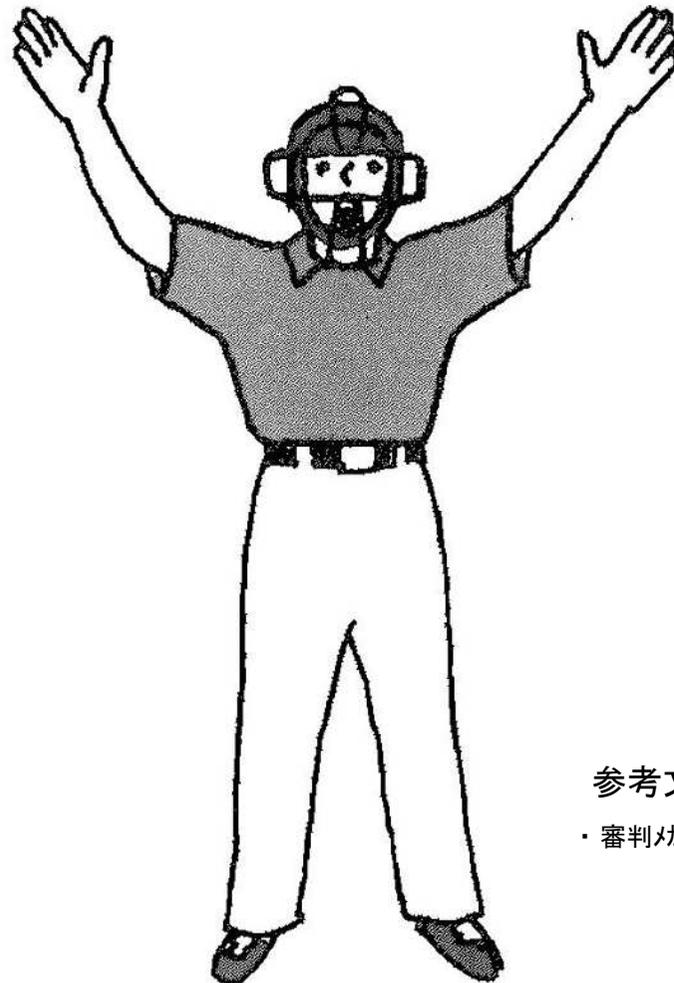
• 7-3 ボールカウント



ボールカウントを先にコール
「スリーボール！ ツーストライク！」

8. ジェスチャーの基本(球審・塁審)

- タイム！



参考文献

・ 審判マニクスハンドブック 第6版 著:全日本野球会議審判技術委員会